

# 「健康診査」は引き続き無料で実施を!

## ヒドイ!! 特定健診の有料化は多摩26市で町田市だけ



「また上がった」と不安そうに血圧を測る高齢者

町田市は、一般会計予算で「一般成人健診」(18〜39歳)、国保事業会計で「特定健診」(40〜74歳)、後期高齢者医療事業会計で「健康診査」(75歳以上)を実施しますが、自己負担500円の有料健診(生活保護受給者、市民税非課税世帯を除く)にします。昨年12月議会の

“健康を意識してもらうため”と「健診」有料化を市民に押し付け

政府の医療制度改革により、

4月から、国民健康保険など各医療保険者による“メタボ”等の「特定健診」が始まり、町田市が市民の健康事業として実施

してきた基本健診(18歳以上、無料)はなくなりませんでした。

市長答弁では、無料化を検討するとしていたのに、突然の方向転換です。石阪市長は、今議会のわが党議員の質問に対して、「健康診査」の有料化は、「市民が健康を意識してもらうために必要」と答え、市民の健康を守るべき国や自治体の責任を棚上げにし、市民に押し付けました。

この国で無料だった基本健診の受診率(06年度、40歳以上)は、町田市では79%と高く、市民の健康を守ることは国や地方自治体の重要な役割です。健康診査の有料化は中止し、無料にすべきです。

みなさんと力を合わせて実現できました

乳幼児医療費から10月就学前まで全員無料に  
市民病院4人部屋差額ベッド料から5月無料に  
無料妊婦健診から4月2回→5回に拡充

08年度第1回町田市議会定例会が2月27日〜3月28日まで行われました。日本共産党市議団は、後期高齢者医療制度の中止・撤回、税金は新庁舎より市民生活優先になど、市民の切実な要求実現の立場にたって奮闘しました。また、今議会では、乳幼児医療費助成の所得制限を撤廃する「条例」(就学前まで全員無料)、市民病院の4人部屋差額ベッド料(2千円/日)を無料にする「条例」が全会一致で可決され、市民のみなさんとともにわが党市議団が取り組んできた要求が実現しました。(2・3面を参照)

市民の健康を守るのは国、自治体の重要な役割

調査の結果、左表のように、多摩26市で、市民の健康診査の自己負担は、町田市を除いてほとんど無料です(後期高齢者健診は2市)。憲法第25条は、「健康で文化的な最低限度の生活を営む」国民の権利と社会保障向上のため

多摩26市における健康診査の自己負担の状況

	特定健診 (40〜74歳)	健康診査 (75歳以上)
	自己負担	自己負担
八王子	なし	なし
立川	なし	なし
武蔵野	なし	なし
三鷹	なし	なし
青梅	なし	なし
府中	なし	なし
昭島	なし	なし
調布	なし	なし
町田	500円	500円
小金井	なし	なし
小平	なし	なし
日野	なし	なし
東村山	なし	なし
国分寺	なし	なし
国立	なし	なし
西東京	なし	なし
福生	なし	なし
狛江	なし	なし
東大和	なし	なし
清瀬	なし	なし
東久留米	なし	500円
武蔵村山	なし	なし
多摩	なし	なし
稲城	なし	なし
羽村	なし	なし
あきる野	なし	なし

日本共産党  
町田市議団 ニュース

日本共産党市議団ホームページ  
http://www.jcp-machidashigidan.jp/  
2008年5月

発行 日本共産党町田市議団  
住所 町田市森野3-7-46  
TEL042(723)6312 FAX(725)1988  
Eメール post@jcp-machidashigidan.jp